



Title	Thymic myoid cell as a myasthenogenic antigen and antigen-presenting cells
Author(s)	松本, 恵
Citation	(2007-04-30)
Issue Date	2007-04-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/9408">http://hdl.handle.net/10069/9408</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-27T21:28:22Z

(別記様式第3号)

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1776号	氏名	松本 恵
論文審査担当者		主査教授	由井 克之 印
		副査教授	江口 勝美 印
		副査教授	永山 雄二 印
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、重症筋無力症の発症機序に関して、胸腺内に存在しアセチルコリン受容体を発現する筋様細胞の役割について解析したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ラット筋様細胞株を用い、筋様細胞による抗アセチルコリン受容体抗体産生惹起能、抗原提示能及び重症筋無力症の発症について検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 筋様細胞株は抗アセチルコリン受容体抗体産生を誘導する抗原性と抗原提示能を有するが、それだけでは重症筋無力症発症には十分ではないことを明らかにし、今後の重症筋無力症発症機序の解明に向けて進展が期待される。</p>			
<p>以上のように、本論文は重症筋無力症発症機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。